

# 漁海況月報

令和2年6月1日

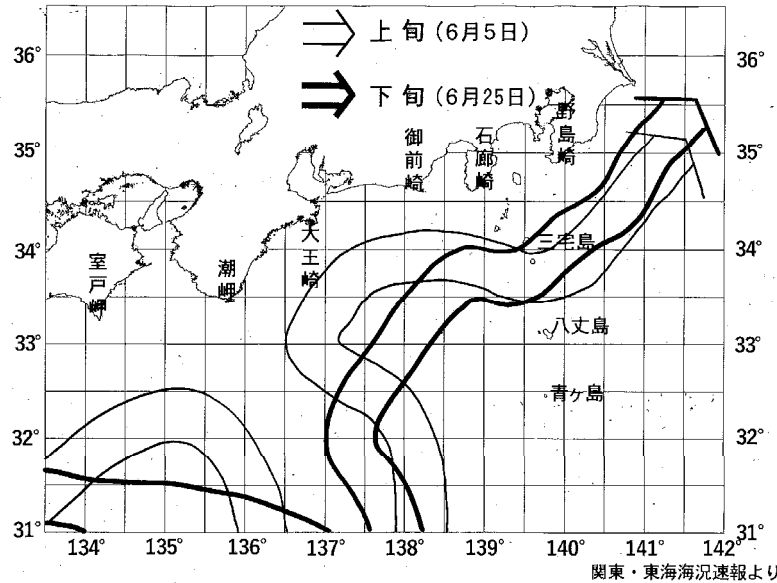
No.6 ~6月30日

静岡県水産・海洋技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

6月定地水温の旬平均値( ) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	20.5	20.5	20.8	21.5	22.0	21.6
	0.8	1.4	1.4	1.0	1.4	1.0
中旬	21.2	20.2	20.0	22.2	23.1	21.5
	0.7	0.6	0.1	0.9	1.7	0.4
下旬	22.5	22.3	22.0	23.4	22.8	23.0
	1.3	1.6	1.3	1.2	0.7	1.2
月	21.4	21.0	20.9	22.3	22.6	22.0
	0.9	1.2	0.9	1.0	1.2	0.8

\* 地頭方の水温観測は終了しました。

## [ 黒潮流路 ]

6月を通じてA型で、潮岬を大きく離岸し、29.5°N付近まで南下した後に遠州灘沖まで北上し、三宅島付近を通過して北東へ流去した。

上旬は熊野灘沖から遠州灘沖をS字状に北上する流路となったが、同海域に暖水波及は見られず、石廊崎沖から大島西水道に向けてのみ暖水波及が見られた。

中旬は遠州灘沖137.5°E付近を直線状に北上する流路となり、熊野灘沖に暖水波及が見られた。

下旬は遠州灘沖の北上部が熊野灘沖を離れ、32°N付近から北東に向かい、石廊崎沖を東進する流路となり、石廊崎～駿河湾沖や大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

## [ 県下沿岸域 ]

上旬は全地点で「やや高め」であった。中旬は下田、焼津が「平年並」、伊東、稲取、雲見が「やや高め」、沼津が「高め」であった。下旬は伊東、下田、雲見、沼津、焼津が「やや高め」、稲取が「高め」であった。

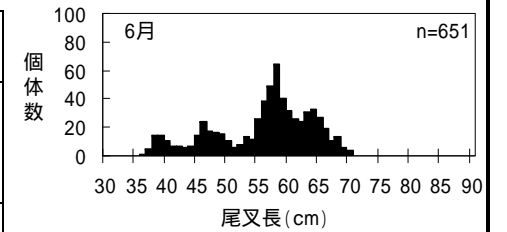
## [ 竿釣りカツオ ]

6月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは114.9トンで前年同月(241.9トン)の47%であった。魚価は444円/kgで前年同月(301円/kg)を上回った。

漁場は33.5-34°N、138.5-139°Eの伊豆諸島周辺海域などであり、御前崎港で測定した魚体サイズは、大(尾叉長58cm)を主体に、中(尾叉長57cm)、特大(尾叉長65cm)、小(尾叉長46cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚げ量(県内主要5港)

期間	水揚げ量(トン)	水揚げ隻数	平均水揚げ量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R2年6月上旬	51.9	22	2.4	485
中旬	21.0	14	1.5	442
下旬	42.0	12	3.5	394
R2年6月計	114.9	48	2.4	444
R元年6月計	241.9	62	3.9	301
H30年6月計	112.5	36	3.1	420



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

## [ 定置網 ]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は121.6トンで前年の同漁場の水揚げ量(176.9トン)の69%であった。また、1か統あたりの水揚げ量は、17.4トンで前年(25.3トン)の69%、平年(58.3トン)の30%であった。水揚げの多い漁場は、伊豆山漁場(23.2トン、さば類、カタクチイワシ、ブリ)、次いで北川漁場(21.8トン、さば類、スルメイカ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)の通りで、さば類は47.0トン、前年比1.6倍、平年比45%でゴマサバ主体であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは5.3トン、前年比67%、平年比29%、ゴマサバは41.8トン、前年比1.9倍、平年比45%であった。ブリは20.1トン、前年比70%、平年比1.1倍で銘柄わらさ主体であった。カタクチイワシは11.1トンで、前年比1.4倍、平年比22%であった。マアジは5.6トンで、前年比1.2倍、平年比8%であった。また、じんだ(マアジ小型当歳魚銘柄)は平年比26%であったが、前年比3.7倍(水揚げ量1.3トン)と前年を上回った。トビウオは4.5トンで、前年比6.4倍、平年比58%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の水揚げ量の割合は、さば類では北川漁場が24%(11.3トン)、川奈漁場が23%(10.9トン)、ブリでは赤沢漁場が50%(10.0トン)、伊豆山漁場が21%(4.2トン)、カタクチイワシでは伊豆山漁場が39%(4.3トン)、古網漁場が31%(3.4トン)、北川漁場が17%(1.9トン)、マアジでは赤沢漁場が24%(1.3トン)、川奈漁場が21%(1.2トン)、北川漁場が17%(1.0トン)、伊豆山漁場が16%(0.9トン)、トビウオでは川奈漁場が62%(2.8トン)を占めた。

\* 平年：昭和57年～令和元年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	47.0	1.60	0.45	北川、川奈
ブリ	20.1	0.70	1.07	赤沢、伊豆山
カタクチイワシ	11.1	1.37	0.22	伊豆山、古網、北川
マアジ	5.6	1.22	0.08	赤沢、川奈、北川、伊豆山
トビウオ	4.5	6.41	0.58	川奈

**[サバ棒受網・たもすくい]**

小川港所属の棒受網漁船は上旬から中旬にかけて棒受網主体で操業したが、下旬には一部の船がたもすくい操業を行った。漁場は上旬は大室出し、中旬はひょうたん瀬、下旬は大室出し、利島北部に形成された。水揚量はマサバ0.4トン(前年同月3%)、ゴマサバ155トン(前年同月比39%)であり、1隻あたり水揚量はマサバ0.03トン(前年同月0.6トン)、ゴマサバ8.6トン(前年同月13.9トン)であった。1kgあたり平均単価はマサバ271円で前月(98円)、前年同月(177円)を共に大きく上回った。ゴマサバは138円で前月(112円)、前年同月(84円)を共に大きく上回った。

漁獲されたゴマサバの体長組成は32cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(棒受網・たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R2年6月上旬	0	12	2	4	0.1	2.9	268	169	大室出し
中旬	0	39	1	3	0	13.1	-	133	ひょうたん瀬
下旬	0	104	4	11	0	9.5	359	136	大室出し、利島北部
R2年6月計	0	155	7	18	0	8.6	271	138	大室出し、ひょうたん瀬、利島北部
R元6月計	19	402	7	29	1.2	13.9	177	84	ひょうたん瀬など
H30年6月計	0	827	10	39	0.0	21.2	227	93	大室出し、三宅、ひょうたん瀬

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

\*表中の「-」は水揚げがなかったこと、「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

**[サクラエビ船曳網]**

6月の出漁日数は1日、水揚量は0.9トン(前年は5月末で終漁したため、操業がなかった)で、主漁場は相良沖であった。水揚げされたサクラエビの体長組成をみると36mm、42mm付近にモードを持つ群が主体であった。

なお、今春漁は6月3日夜の操業で終漁し、総水揚量は25.9トン、出漁日数は13日であった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R2年6月計	0.9	1	相良沖
R元年6月計	-	-	出漁なし
H30年6月計	4.7	1	由比~興津沖
H29年6月計	32.4	1	富士市沖~興津沖

\*水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**[シラス船曳網]**

県内主要6港における1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が360kg/統、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が569kg/統であった。主要6港全体では475kg/統と前年同月(321kg/統)の1.5倍、平年同月(過去5か年平均:513kg/統)の92.7%であった。また、水揚量は1,152.6トンで前年同月(473.6トン)の2.4倍、平年同月(801.7トン)の1.4倍と、前年、平年同月を上回った。平均単価は870円/kgと、前年同月(831円/kg)の1.0倍、平年同月(538円/kg)の1.6倍と、前年同月並となり、平年同月を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	日数	統数	1か統当たり水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	95.5	14	191	500	709
舞阪	338.3	14	570	594	823
福田	228.2	15	399	572	790
御前崎	98.3	16	176	559	766
吉田	256.0	22	616	416	942
静岡	136.2	20	473	288	1,147
R2年6月計	1,152.6	101	2,425	475	870
R元年6月計	473.6	69	1,477	321	831
H30年6月計	212.5	55	1,084	196	1,322

\*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

\*平年同期:過去5か年(平成27~令和元年)平均値

\*1そう曳きの場合は1隻で1か統、2そう曳きの場合は2隻もしくは運搬船を含んだ3隻で1か統とする。

**[まき網(いわし類)]**

マイワシの水揚量は、静岡港では0.2トン(前年同月比4.4倍、平年同月比2.5倍)、沼津港では86.6トン(前年同月比60.3%、平年同月比20.6%)、小川港では37.0トン(前年同月比89.9%、平年同月比59.5%)、伊東港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静岡港、沼津港、小川港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.1トン、カタクチイワシは11.1トンであった。  
\*平年:過去5か年(平成27~令和元年)平均値

**[調査船駿河丸の動向]**

6月1日	~	6月3日	地先定線観測調査	(3日間)
6月8日	~	6月9日	さば類標識放流調査(銭州~ひょうたん瀬)	(2日間)
6月10日	~	6月11日	サクラエビ調査(卵数法)	(2日間)
6月16日	~	6月17日	サクラエビ調査(卵数法)	(2日間)
6月23日	~	6月25日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(3日間)
6月29日	~	6月30日	キンメダイ食害調査(駿河湾内)	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

